



【咽頭】

- ・ 粘膜上皮：重層扁平上皮、筋層は骨格筋
- ・ 上部（後鼻孔）・中部（口峽）・下部（喉頭口）
- ・ 咽頭下端の高さ C6→食道へ移行
- ・ ワルダイエルの咽頭輪（

【食道】

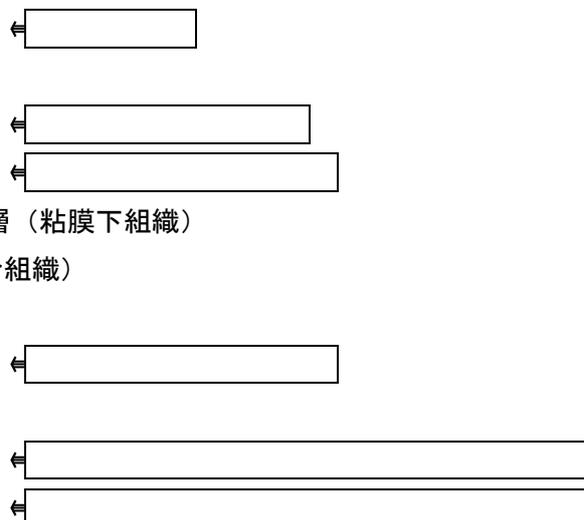
- ・ 長さ 25 cm（そんなに長くない）
- ・ 粘膜上皮：重層扁平上皮
- ・ 食道壁構造

粘膜上皮・粘膜固有層・粘膜筋板・粘膜下層（粘膜下組織）  
筋層（2層）※骨格筋と平滑筋・外膜（結合組織）

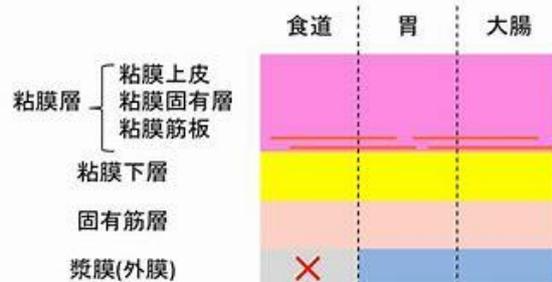
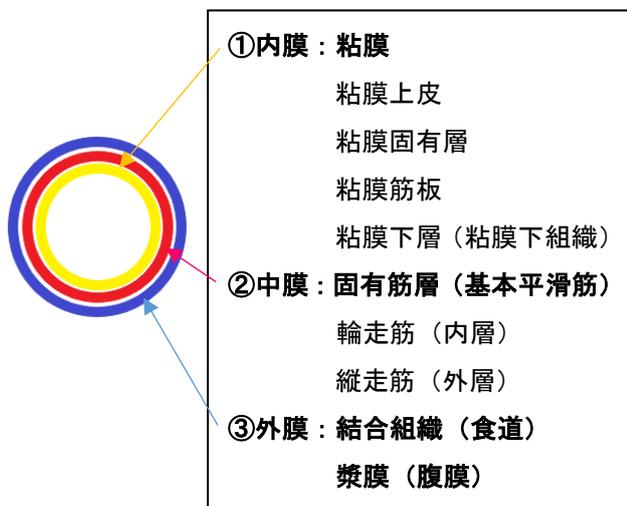
- ・ 三狭窄部：咽頭移行部（輪状軟骨部） C6
- 気管分岐部                          T5
- 横隔膜貫通部                  T10

※噴門は T11

- ・ 下部食道括約筋



【消化管粘膜】



【胃】

←

- ・筋層は3層 (輪走筋、縦走筋、斜走筋)
- ・壁構造は食道と同じ (※粘膜上皮: 単層円柱上皮) ←
- ・噴門 (入口: 括約筋なし) T11、幽門 (出口: 幽門括約筋)
- ・胃底部 (胃上部)、大弯 (大網)、小弯、胃体部、幽門部
- ・胃角部 (胃切痕) ←
- ・分泌細胞: ←

胃体部: 胃底腺 (塩酸<房細胞>・ペプシン<主細胞>・粘液<副細胞>)

幽門部: (粘液<幽門腺>)・ガストリン (ホルモン<G細胞>)

【小腸】

- ・輪状ヒダ (空腸上部で最も発達)、腸絨毛
- ・毛細血管 (ブドウ糖、アミノ酸) 中心リンパ管 (脂肪)

①十二指腸 (間膜なし)

大十二指腸乳頭、オッディの括約筋

←

②空腸 (間膜あり)

左上腹部

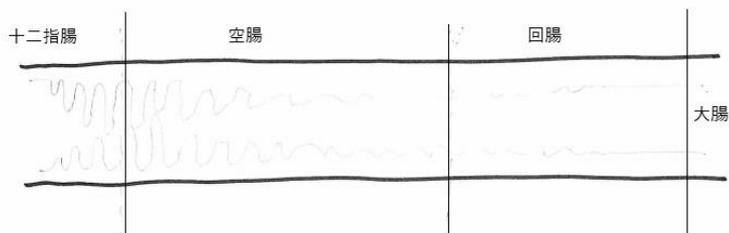
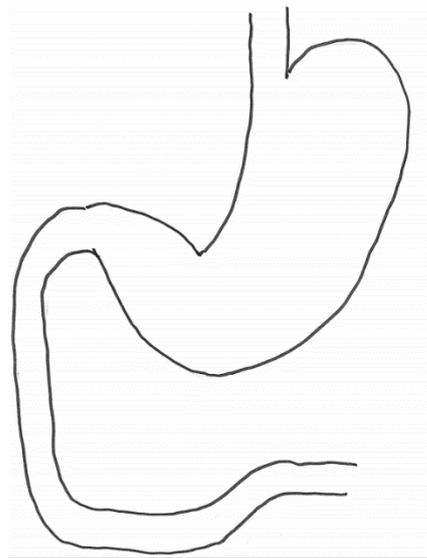
←

③回腸 (間膜あり)

右下腹部、パイエル板

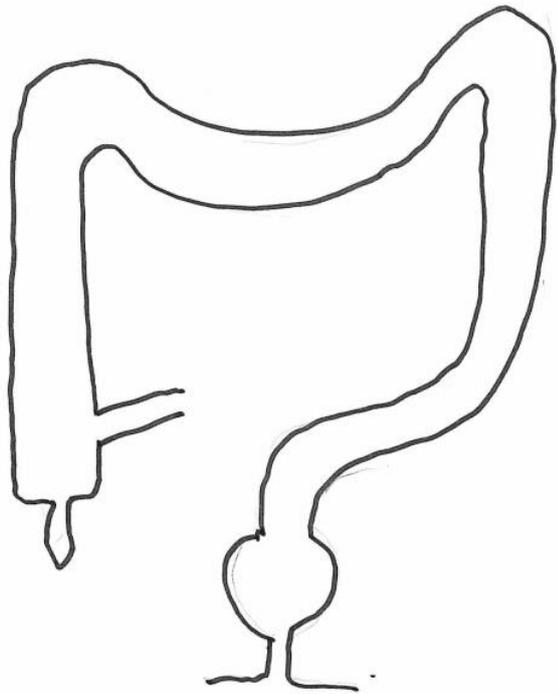
←

←



【大腸】

- ・ 特徴：結腸膨起、結腸ヒモ（外走筋）、腹膜垂 ⇐
- ・ 壁構造は食道と同じ（※粘膜上皮：単層円柱上皮） ⇐
- ①盲腸（一部間膜あり）回盲弁（バウンヒン弁）
  - ・ 虫垂（間膜あり） ⇐
- ②結腸
  - ・ 上行結腸（間膜なし）
  - ・ 横行結腸（間膜あり）胃の大弯に沿う ⇐
  - ・ 下行結腸（間膜なし）
  - ・ S状結腸（間膜あり） ⇐
- ③直腸（間膜なし）腹膜後臓器 ⇐
- ・ 肛門（内<平滑>・外<骨格>肛門括約筋） ⇐



【腹膜】

- ・漿膜構造 (二重の膜) : 移動性がある (動く場所)  
 胸膜や心嚢 (心膜) と同じ  
 二重膜の腔所は漿膜腔 (心膜腔、胸腔、腹腔)
- ・単層扁平上皮

①腹膜内臓器 (間膜あり)

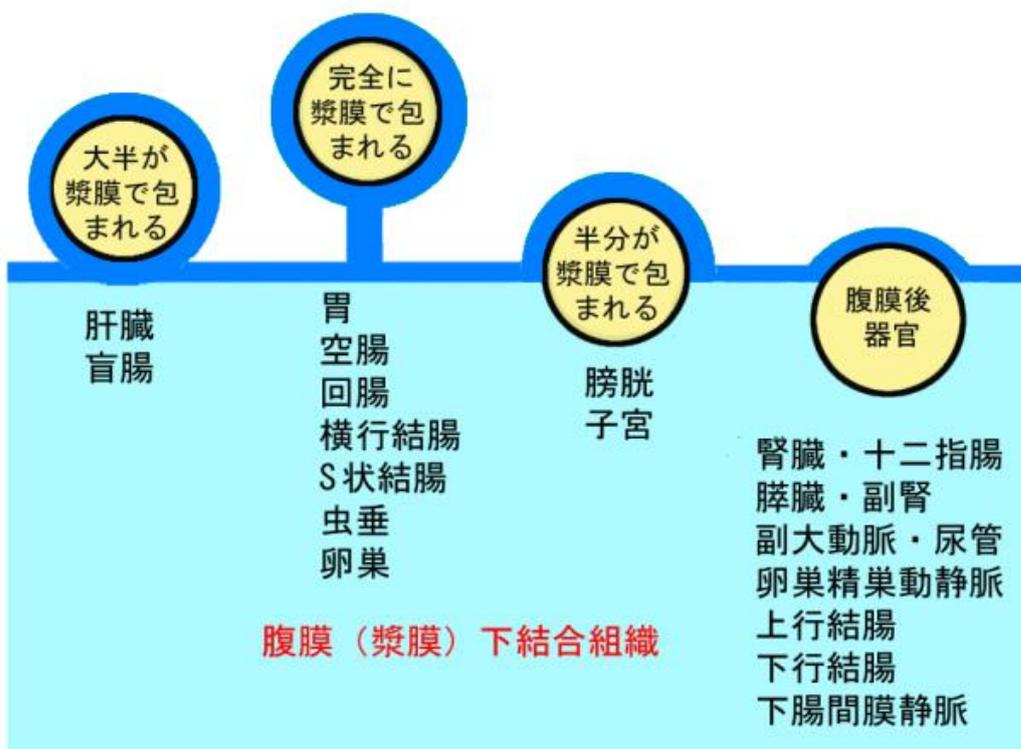
← 、

- ・腹腔内で全体が腹膜に覆われる : 胃、空腸、回腸、横行結腸、S状結腸、虫垂、脾臓  
 ※動く (移動) 臓器
- ・腹腔以外で腹膜に覆われる : 卵巣、卵管
- ・一部腹膜に覆われない : 肝臓、子宮、<膀胱 : 間膜なし>

②腹膜後臓器 (間膜なし) 動かない (移動がダメ) な臓器

- ・前面が腹膜に接している : 十二指腸、上行結腸、下行結腸、膵臓
- ・脂肪組織等に包まれる : 腎臓、副腎、尿管、直腸

腹腔臓器の位置と漿膜との関係





【胆嚢】

- ・ 肝臓の右葉下面に付く、ナス形 9 cm 右上腹部
- ・ 前端は腹直筋と右肋骨弓の交わる場所
- ・ 胆汁を貯え濃縮する (胆汁産生は肝臓) 流れは前出の通り
- ・ 総胆管: 大十二指腸乳頭に開く前に主膵管と合流 (胆膵管)
- ・ コレシストキニン分泌 (十二指腸壁) →胆嚢収縮→胆汁排出

←

←

←

【膵臓】

- ・ 第 1・2 腰椎の前の高さ 15 cm 腹膜後臓器
- ・ 膵頭・膵体・膵尾に分ける
- ①膵頭 (十二指腸) 主に外分泌細胞 (膵液)
- ②膵体
- ③膵尾 (脾臓) ランゲルハンス島 (膵島) 内分泌細胞
- ・ 膵液 (消化酵素) オッディの括約筋により分泌調節

←

←

←